

歯科保健指導

[講義・実習] 第2学年 前後期 必修 2単位

《担当者名》専任教員 / ○秋元 奈美 / 岡橋 智恵 / 大山 静江 / 千葉 利代 / 山形 摩紗

【概要】

1年次で修得した歯科保健指導の基本的な知識・技能・態度をもとに、各場面に適した歯科衛生教育の実施に向け、対象者を把握し、対象別に指導ができることを目的とする。

【学修目標】

以下の点について学習する。

歯科保健指導の対象となる各年齢層の特性を理解する。

歯科疾患予防に関する知識を整理し、対象別に歯科保健指導を実施することができる。

ライフサイクルに適した栄養指導の説明ができる。

歯科疾患予防のための生活指導および栄養指導について説明できる。

ライフサイクルに適した口腔保健管理について説明できる。

要介護高齢者や心身障がい者の歯科的特徴と歯科保健指導における留意点が説明できる。

高齢者のQOLの向上へ向け、高齢者の身体的、社会的および精神的特徴を理解した上で、高齢者の口腔機能を回復・増進させる口腔保健管理上の知識・技術・態度を系統的に修得できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	生涯を通じた歯科保健指導 (ライフステージ別に応じた口腔保健管理) 1年次の続き 6. 成人期 7. 老年期	講義 ● 口腔保健における歯科衛生士の役割を理解する ● ヘルスプロモーションの担い手として、生涯を通じた口腔保健とは何か理解する ● 各ライフステージの一般的な生活習慣の現状、課題と問題点、歯科保健指導におけるポイントについて学ぶ	秋元 奈美
2 { 3	デンタルフロスの操作方法	実習 ● サークル法、指巻き法の操作方法を理解し、実践する ● 対象者へ対しての伝え方を身につける	秋元 奈美
4 { 5	個人媒体の活用法	講義・演習 ● 個人媒体の作成を通して、教材媒体のテーマの構成、対象者へのモチベーション、活用法、話法を学ぶ。	秋元 奈美
6 { 7	術者磨き	実習 ● 対象者に対して染色を実践する。 ● 歯ブラシ、歯間ブラシ、タフトブラシ、デンタルフロスの操作方法を理解し、実践する。	秋元 奈美
8	電動歯ブラシ	実習 ● 電動歯ブラシの特性と使用目的・使用方法を理解する。 ● 対象者へ対しての伝え方を身につける	秋元 奈美
9	ウォーターピック エアーフロス	実習 ● ウォーターピックとエアーフロスの特性と使用目的・使用方法を理解する。 ● 対象者へ対しての伝え方を身につける	秋元 奈美
10	食生活指導の基礎知識 1. 国民の健康と栄養の現状 2. 1人1日 - 栄養素・食品摂取の変遷 3. 近代の食生活の特徴 4. 国民健康づくりにおける食生活改善の取り組み	講義 ● 我が国における国民の健康課題を説明できる ● 健康を維持するための栄養情報を説明できる ● 食品と歯科疾患の関連性を説明できる	秋元 奈美

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	5. 食品のう蝕誘発性		
11	食生活指導の為の基礎知識 1. 代用甘味料 2. 歯周病と食生活 3. 酸蝕症と食生活 4. 特別用途食品と保健機能食品	講義 ● 齲蝕予防のための食品摂取方法を説明できる ● う蝕予防の為の代用甘味料の利用法について説明出来る ● 歯周病と酸蝕症の食生活の関りを説明できる ● 特別用途食品と保健機能食品について説明する	秋元 奈美
12	保健行動支援の為の基礎知識 1. 行動変容に関連する理論 (1) 健康信念モデル (2) 学習理論 (3) 社会的認知理論 (4) 変化のステージモデル (5) プリシード・プロシードモデル 2. 行動変容を促進する促進する理論の実践 (1) ストレスとコーピング (2) 認知行動療法	講義 ● 効果的な歯科保健指導や健康教育・健康相談を行うためのコミュニケーションの過程を学ぶ。 ● 歯科保健指導を行うための適切な話法を説明できる。 ● 行動変容のステップを説明できる。 ● 認知行動療法について説明する。	秋元 奈美
13 (15	染色、B r 指導、補助清掃用具指導	実習 ● 染色の手順および注意点を守り操作する ● 口腔内の状態を読み取り、改善に導くブラッシング指導を実践する ● 対象者に対してコミュニケーションを身につける	秋元 奈美
16 (18	個人媒体、染色、B r 指導、補助清掃用具指導	実習 ● 個人媒体を活用し患者指導に活かす ● 染色の手順および注意点を守り操作する ● 口腔内の状態を読み取り、改善に導くブラッシング指導、補助清掃用具の指導を実践する ● 対象者に対してコミュニケーションを身につける	秋元 奈美
19	実技試験に向けて復習、練習	実習 ● デンタルフロスの指巻き法の実践	秋元 奈美
20 (21	デンタルフロス実技試験	実技試験を行う	秋元 奈美
22 (24	患者（対象者）からの情報収集 1. 主観的情報の把握 2. 医療面接 全身の健康状態の把握	講義・演習 ● 情報の整理方法を学ぶ ● 初診時における問診と医療面接について理解する ● 疑似患者を通して、歯科保健指導時における面接技術を習得する	秋元 奈美
25	禁煙者に対する支援 1. 喫煙状況のアセスメント 2. 禁煙ステージのアセスメントと禁煙支援のポイント 3. 禁煙ガイドライン 4. 薬物療法	講義・演習 ● 喫煙と関連のある口腔疾患および症状を学ぶ。 ● 禁煙支援に必要な禁煙ステージを把握する。 ● 各ステージに合った支援より、効果的に行動変容を促進するステップを学ぶ。	秋元 奈美
26	口臭 1. 口臭の原因 2. 口臭の分類と治療必要度 3. 口臭検査の目的 4. 口臭検査法と判定 5. 口臭の予防と保健指導 6. 口臭測定器 歯科領域における虐待問題の関わり	講義・実習 ● 口臭の原因と分類、治療必要度について理解する。 ● 口臭の予防方法を知り、口臭症患者に対する保健指導について説明できる。 ● 虐待の種類を説明する。 ● 虐待の防止について説明する。 ● 虐待の早期発見における歯科医療従事者の役割について説明する。	秋元 奈美
27	地域歯科保健活動における歯科衛生士の役割	講義 ● 歯科衛生教育活動における歯科衛生士の役割と関連	秋元 奈美

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	1. 健康教育の概要 2. 健康教育の進め方 3. 健康教育の方法 4. 健康教育の評価 大規模災害被災者	法規について理解する。 ●対象となる地域・機関の特性と、そのニーズを把握する。 ●歯科保健医療のアセスメントと支援活動を説明できる	
28	特別な配慮が必要な方への対応 1. 要介護高齢者 2. 障害児者 全身の健康状態の把握 認知機能の把握	講義 ●要介護高齢者、障害児者の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ●服薬状況の把握を説明できる ●認知機能の評価方法を説明出来る	秋元 奈美
29	口腔の機能的問題の把握 口腔機能管理に関わる指導	講義 ●観察による評価、口腔機能の評価を理解し、指導に必要な知識を説明できる ●口腔機能の発達に関連する指導に関する知識を説明出来る	秋元 奈美
30	非感染性疾患 まとめ	講義 ●歯科保健医療のアセスメントと支援活動を説明できる ●非感染性疾患の種類と口腔管理衛生指導を説明で知る ●2年次に学習した当該科目の振り返りをするために必要な知識をまとめ、試験対策の準備をする。	秋元 奈美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験（実技試験含む）・・・90%

提出物・授業態度・・・・・・10%

以上を総合的に判断する

【教科書】

「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論 / 歯科保健指導論」医歯薬出版

「最新歯科衛生士教本 保健生態学」医歯薬出版

「最新歯科衛生士教本 栄養と代謝」医歯薬出版

【参考書】

「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科第2版」医歯薬出版

「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版」医歯薬出版

ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策

【学修の準備】

予習（15分）：指定した教科書の授業内容に対応する項目を事前に読んでおくこと。

復習（45分）：専門用語を覚え、記述できるようにすること。

【実務経験】

岡橋 智恵（歯科衛生士）

大山 静江（歯科衛生士）

千葉 利代（歯科衛生士）

山形 摩紗（歯科衛生士）

秋元 奈美（歯科衛生士）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科衛生士としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度などを活用し、実践的な教育を行う